

2016年9月 販売開始予定

本資料記載の情報は製品発表前のものが含まれるため、予告なく変更することがあります。

最新 インテル® Xeon Phi™ プロセッサー 搭載

FUJITSU Server PRIMERGY CX600 M1 / CX1640 M1

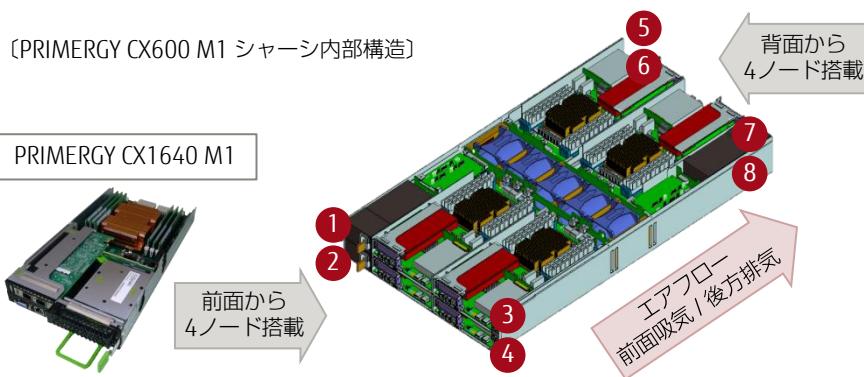
2Uサイズのシャーシに最大8ノードを搭載し、従来製品の2倍の集積密度を実現するマルチノードサーバ

最新CPU「インテル® Xeon Phi™ プロセッサー」を1基搭載する「PRIMERGY CX1640 M1」サーバノードを、2Uサイズの「PRIMERGY CX600 M1」シャーシに、前面から4台、背面から4台、合計で最大で8台搭載することができます。

また、1シャーシ規模の中小システムから、19インチラック1本あたり最大168台搭載可能な集積密度を活かした大規模システムまで、様々な規模のシステムを構築することができます。



[PRIMERGY CX600 M1 シャーシ内部構造]

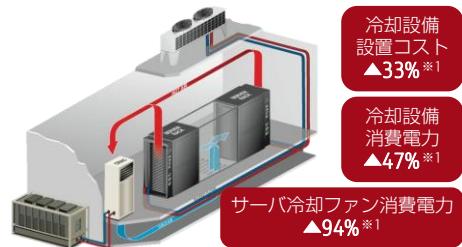


[PRIMERGY CX1640 M1 主な仕様]

| | |
|--------|--|
| CPU | Xeon Phi プロセッサー x1 |
| メモリ | MCDRAM (CPU内蔵) 16GB DDR4メモリ 最大384GB |
| ストレージ | SATAフラッシュモジュール x1 SATA HDD x1 または SATA SSD x1-2 または PCIe SSD x1 |
| ネットワーク | 1Gbps Ethernet (オンボード) x2 PCI Express 3.0 (x16レーン) x1 |

空冷モデルに加え、最新の温水冷却技術を採用した水冷モデルをラインナップ

水冷モデルはサーバに内蔵する水冷ポンプでCPUを冷却し、冷却ファンの回転数を下げることで、サーバ消費電力を削減します。また、冷却水と共にサーバ外に出される熱は、サーバを搭載する19インチラックに連結されるCDUでの熱交換、屋外に設置する冷却塔での外気冷却により、従来よりも少ない空調設備で冷却されます。サーバや冷却設備の消費電力、および冷却設備そのものの削減により、システムのTCOを削減します。

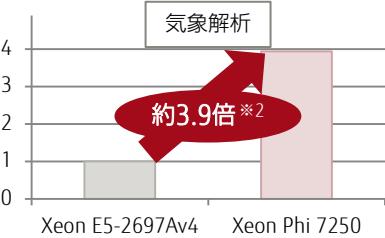
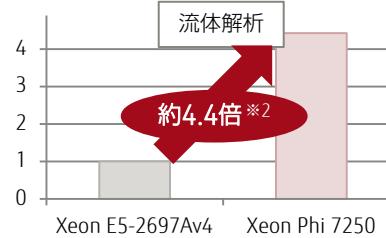


インテル® Xeon Phi™ プロセッサー 製品ファミリー

最新「インテル® Xeon Phi™ プロセッサー」は「インテル® Xeon® プロセッサー」と同様に独立して動作するCPUです。1CPUあたり最大72コアを搭載し、理論演算性能では従来製品「インテル® Xeon Phi™ コプロセッサー」の約2.5倍となる3テラフロップス (TFLOPS) 以上を実現します。また、メモリはプロセッサーに内蔵する最大16GBの高速MCDRAM (Multi-Channel DRAM) に加え、最大384GBのDDR4メモリを搭載可能です。

インテル® Xeon Phi™ プロセッサー 性能検証結果

「インテル® Xeon Phi™ プロセッサー」を搭載したPRIMERGYを用いて各種ベンチマークの性能検証を実施し、「インテル® Xeon® プロセッサー E5-2697Av4 (2.60GHz, 16コア)」の検証結果と比較したところ、最大で約4.4倍の性能向上となる結果が得られました。



*1 コスト削減効果はお客様環境により異なります。本資料の内容は、お客様環境でのコスト、消費電力削減効果を保証するものではありません。

*2 本資料に記載されている性能指標は、Xeon E5-2600v4 製品ファミリー×1CPUとXeon Phi プロセッサー 7250×1CPU (RHEL 7.2, mpss使用)との実行性能比較結果となり、お客様システムにおける性能向上を保証するものではありません。なお、測定環境の詳細は弊社ホームページ (www.fujitsu.com/jp/primergy/) をご参照ください。

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン 0120-933-200 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター